

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-16801

(P2004-16801A)

(43) 公開日 平成16年1月22日(2004.1.22)

(51) Int. Cl.⁷

A63H 33/00

A63F 9/12

A63H 33/10

F I

A63H 33/00

A63F 9/12

A63H 33/10

A63H 33/10

304B

E

C

D

テーマコード(参考)

2C150

審査請求 未請求 請求項の数 10 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2002-214555 (P2002-214555)

(22) 出願日 平成14年6月19日(2002.6.19)

(特許庁注: 以下のものは登録商標)

マジックテープ

(71) 出願人 593022777

佐々木 恵志

千葉県八街市泉台2丁目18番1号

(72) 発明者 佐々木 恵志

千葉県八街市泉台2丁目18番1号

Fターム(参考) 2C150 BA23 BA36 BA63 BA64 CA25

CA26 FB28 FB33

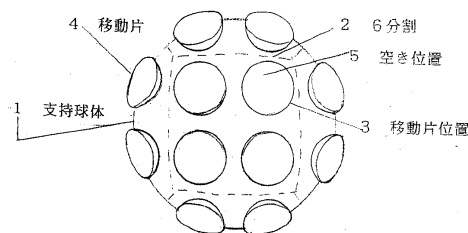
(54) 【発明の名称】 パズル玩具

(57) 【要約】

【課題】 球形状のパズル玩具を提供する。

【解決の手段】 支持球体1の表面を6分割2とし、1分割面に4個、合計、24カ所の移動片位置3をもうけ、6色に色分けした移動片4を5色を各4個、1色を3個、1色3個の色を移動片位置3と同色とし1色4個と仮定し、合計23個の移動片4を支持球体1の移動片位置3にばらばらに配置し、1カ所空いた移動片位置3に隣接する4方向から、1個の移動片4を順次移動させ、6色に色分けした23個の移動片4を5色各4個を1ブロックとして5ブロック、1色3個と移動片位置3が同色となり4個と仮定し、1ブロックとして、合計6ブロックに合わせて遊ぶパズル玩具。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

支持球体(1)の外周面を6分割(2)とし、1分割面に4個の移動片位置(3)を24か所もうけ、6分割(2)部に5色を各4個、1色を3個、合計23個の移動片(4)を配置し、移動片位置(3)を1か所空き位置(5)とし、空き位置(5)に隣接する移動片(4)を1個移動し、順次変化する空き位置(5)に移動片(4)の移動を繰り返すことで5色各4個を1組として5組、1色3個1組を移動片位置(3)と同色とすることで合計6色各4個と仮定し、ばらばらに色分けした合計23個の移動片(4)を6分割(2)部に6色6組各4個に合わせて遊ぶことを目的とするパズル玩具。

【請求項 2】

支持球体(1)の素材を薄鉄板(6)とし、移動片(4)に凹状磁石(7)を固定し、支持球体(1)の表面の移動片位置(3)に吸着させる請求項1記載のパズル玩具。

【請求項 3】

支持球体(1)の表面の移動片位置(3)に24か所の凸部(8)をもうけ、凸部(8)にはめ込む凹状(9)の移動片(4)を配置した請求項1記載のパズル玩具。

【請求項 4】

支持球体(1)の表面の移動片位置(3)の24か所に穴(10)をもうけ、穴(10)に差し入れる突起部(11)をもうけた移動片(4)とした請求項1記載のパズル玩具。

【請求項 5】

支持球体(1)の表面の移動片位置(3)の24か所にマジックテープのメス(12)を貼り付け、マジックテープのオス(13)を移動片(4)の裏に貼り付けた請求項1記載のパズル玩具。

【請求項 6】

移動片(4)を凹状磁石(7)とし移動片(4)に直接色づけ(14)した請求項2記載の移動片(4)。

【請求項 7】

移動片(4)の表面に絵(15)を表示した請求項2、請求項3、請求項4、請求項5記載の移動片。

【請求項 8】

移動片(4)の表面に字(16)を表示した請求項2、請求項3、請求項4、請求項5記載の移動片(4)。

【請求項 9】

移動片(4)の表面に取手部(17)をもうけた、請求項2、請求項3、請求項4、請求項5記載の移動片(4)。

【請求項 10】

移動片(4)の表面に動物形状の取手(18)をもうけた、請求項2、請求項3、請求項4、請求項5記載の移動片(4)。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は球形状のパズル玩具に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来のパズル玩具は平面状もしくは立方体状のものであった。

【0003】

【発明が解決しようとしている課題】

本発明は新しい発想により、球形状のパズル玩具を提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するため、球形状の支持球体に24か所の移動片位置を表示し、移動片

10

20

30

40

50

位置に移動片を 5 色を各 4 個、1 色を 3 個、合計 23 個を保持配置させたものである。

【0005】

このとき、支持球体の移動片位置には移動片の 1 色 3 個の色と同色を表示することで 1 色 4 個と仮定し、1 か所空きをもうけ、隣接する 4 方向から 1 個順次移動保持し、ばらばらに色分けされた 23 個の移動片 6 色、各 4 個を 6 ブロックに合わせて遊ぶことを目的とする。

【0006】

【発明の実施形態】

発明の実施形態を実施例に基づき図面を参照して説明する。

図 1 は、支持球体 1 の表面を均等に 6 分割 2 とし、6 分割 2 に各 4 か所の移動片位置 3 を 24 か所もうけ、移動片 4 の 23 個を 6 色に色分けし 5 色を各 4 個、1 色を 3 個とし、1 色 3 個と支持球体 1 の移動片位置 3 の 24 か所を同色とすることで、移動片位置 3 の 1 か所を常に空き位置 5 として、ばらばらに色分けした 23 個の移動片 4 を移動片位置 3 に保持させ、空き位置 5 に隣接する 4 方向から移動片 4 を 1 個移動し、順次変化する空き位置 5 に移動を繰り返し、移動片 4 を支持球体 1 の 6 分割 2 の 6 面に、5 色各 4 個を 5 組、1 色 3 個は移動片位置 3 と同色であることから 4 個と仮定し、6 色各 4 個を 6 ブロックに合わせて遊ぶことを目的とする。

10

【0007】

図 2 は、支持球体 1 の材料を薄鉄板 6 とし、移動片 4 に凹状磁石 7 を固着させ、支持球体 1 の表面、24 か所の移動片位置 3 に吸着させることを目的とする。

20

【0008】

図 3 は、支持球体 1 の表面の移動片位置 3 を 24 か所凸部 8 とし、移動片 4 には凸部 8 に脱着自在の凹状部 9 をもうけたものである。

【0009】

図 4 は、支持球体 1 の表面の移動片位置 3 の 24 か所に穴 10 をもうけ、移動片 4 には穴 10 に脱着自在の突起部 11 をもうけたものである。

【0010】

図 5 は、支持球体 1 の表面の移動片位置 3 にマジックテープのメス 12 を貼り付け、移動片 4 には脱着自在のマジックテープのオス 13 を貼り付けたものである。

【0011】

図 6 は、移動片 4 を凹状磁石 7 とし、直接色付け 14 としたものである。

30

【0012】

図 7 は移動片 4 の表面を絵 15 を表示したものである。

【0013】

図 8 は移動片 4 の表面を字 16 を表示したものである。

【0014】

図 9 は移動片 4 の表面に取手部 17 をもうけたものである。

【0015】

図 10 は移動片 4 の表面を動物形状の取手 18 としたものである。

40

【0016】

【図面の簡単な説明】

【図 1】パズル玩具の外観図である。

【図 2】パズル玩具の支持球体に移動片を吸着した断面図である。

【図 3】パズル玩具の支持球体の凸部に移動片を差し入れた断面図である。

【図 4】パズル玩具の支持球体の穴に移動片を差し入れた断面図である。

【図 5】パズル玩具の支持球体の移動片位置に移動片を保持した断面図である。

【図 6】移動片の凹状磁石の外観図である。

【図 7】移動片の表面に絵を表示した外観図である。

【図 8】移動片の表面に字を表示した外観図である。

【図 9】移動片の表面に取手部をつけた外観図である。

50

【図10】移動片の表面を動物形状の取手とした外観図である。

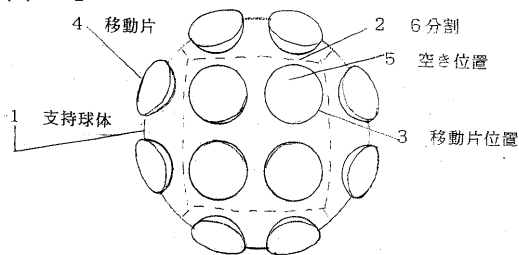
【符号の説明】

- 1 支持球体
- 2 6分割
- 3 移動片位置
- 4 移動片
- 5 空き位置
- 6 薄鉄板
- 7 凹状磁石
- 8 凸部
- 9 凹状
- 10 穴
- 11 突起部
- 12 マジックテープのメス
- 13 マジックテープのオス
- 14 直接色づけ
- 15 絵
- 16 字
- 17 取手部
- 18 動物形状の取手

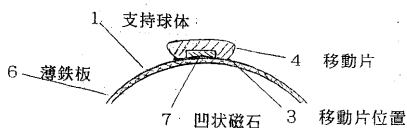
10

20

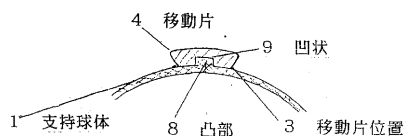
【図1】



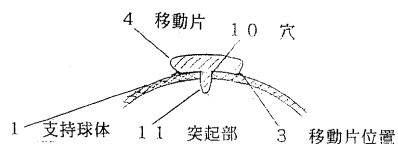
【図2】



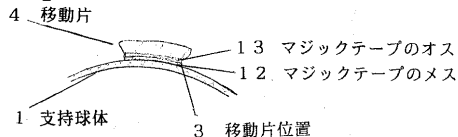
【図3】



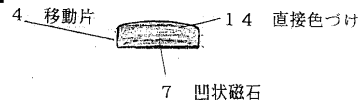
【図4】



【図5】



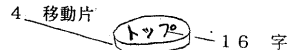
【図6】



【図7】



【図8】



【図9】



【図10】

